



城南第二小だより No. 2

「薫風の恵み」

校長 森嶋 尚子

暖かい穏やかな風が若葉の香りを運ぶさわやかな季節を迎えました。

現代の生活は、人工の風に頼ることが多くなってしまいましたが、生活の様々な場面で自然の風を頼りにしていたかつての生活に思いを寄せます。

すべてのものを養い育てると言われる薫風。ためらいなく外に出て思いっきり体を動かすことができない状況にもどかしさを感じつつ、薫風の恵みが隅々まで行き渡り、すべての子どもたちに届くことを願わずにはられません。

「大切なものを見極めて」「すべきことは確実に」「できるように形を変えて」と思考することが日常になり、教職員も子どもたちも様々に考え、工夫を凝らして活動をしています。昨年度は休止にせざるを得なかった2年生による1年生への学校案内。今年度はタブレットを使った動画での実施です。グループごとに分かれた2年生が、学校の様々な場所に出向きその場所の説明を映像として納めてクイズなども組み込み、先生たちによる編集を経て1年生に届ける計画です。今年度の2年生のミッションは、インタビュアーとしての役割で、その場所で主に仕事をしている教職員に質問を通して話を聞き、場所紹介をより親しみを持って聞けるようにしようというものです。例えば、給食室では栄養士の先生、保険室では養護の先生に話を聞くという具合です。でも、栄養士や養護教諭等（他にもたくさんの職種の人が学校で仕事をしていますが…）については、仕事をしている姿を直接見る機会が少ないので、質問と言っても具体的なものがイメージできません。ここによく知らない相手と話をすることが子どもたちの前に立ちほだかります。ましてや質問となると難しさは倍増します。この時、インタビューに至るまでの学習が試されることとなります。教師側からすると、インタビューをするために必要な知識や技能を、過不足なくステップを踏んで順序良く指導できたかどうか問われる厳しい場面でもあります。指導が十分に伝わっていれば、子どもは自ら積んできた力を発揮します。この力は、相手の1年生と対面し、ガイドしながら説明する活動で培う力とはまた別の力です。

このように、道具や方法を変えることで、使い、身に付く知識・技能が変わってくるということに、子どもを育てる私たちは特に注意を向ける必要があります。対面と遠隔、個別と協同、リアルとバーチャル…。場面による選択と使い分けが今後の大きな課題です。そして、新しい道具が、育っていく子どもの身体面、心理面、認知面にどのように影響を与えていくのか、慎重にみていく必要があります。様々な心配や予測、考えはそれぞれの立場から発信されていますが、今の段階でその答えは誰にも分かりません。言えることは、社会のこの流れは後戻りすることはないということでしょうか。この状況の中で、今私たち大人がしなければいけないことは、子どもたちの育ちの様子をしっかりと「見る・診る・視る・看る」ことに尽きると思います。そしてその見取りを共有し、状況によっては、やめる勇気を持つことが大切なことではないかと思っています。

「負うた子に 教えられて 浅瀬を渡る」

子どもたちは、自らの姿で私たち大人に多くのことを教えてくれます。聞こえてくる声にしっかりと耳を傾けて子ども一人一人の成長・発達を支えていきたいと切に思います。

本校の研究について

研究主任 秋山智美

本校では、『深い学びを形成する教師の指導行動～認知の知見を生かした授業づくり～』をテーマに、令和元年、品川区教育委員会研究学校として研究発表を行いました。その後も、同じテーマで研究を進め、よりよい授業づくりに努めています。目指す授業は「子どもにより伝わる」授業です。学級の全ての子どもに、より深く思考に働きかけられるよう努めています。そのために、子どもの記憶やワーキングメモリ、分かり方のシステムといった認知の側面からの児童理解にも取り組んでいます。

今年度は、本校の研究方法を東海グループの3校（東海中学校、城南小学校、浅間台小学校）に実践的に伝え広めつつ研究を深めていきます。9月までに、8教科（国語・算数・理科・社会・市民科・体育・図工・音楽）において、東海グループの3校に向けて提案授業を行います。10月以降は、各学年の国語科（文学的文章）、および図工・音楽の提案授業を行います。1年間で1教員あたり2本の提案授業を実施し、自己評価および相互評価をします。子どもたち一人一人が「よりよく分かる」過不足のない授業を目指して、今年度も研究を深めていきます。

避難訓練について

生活指導部避難訓練担当 福嶋 昭雄

4月21日、今年度最初の避難訓練を行いました。地震発生時における新しい教室からの避難経路を確認し、「お・か・し・も」のルールを守り、落ち着いて避難をすることができました。1年生も、初めての避難訓練でしたが、あわてることなく参加することができました。

5月には火災を想定した避難訓練を行います。火災が起きた際には、低い姿勢で、けむりを吸い込まないようにハンカチやハンドタオルで口と鼻を押さえることを指導します。今は、全員が常にマスクをしている状態ではありますが、ハンカチやハンドタオルをきちんと身につけているか、ご家庭でも今一度ご確認をよろしくお願いいたします。

今後も「自分の命は自分で守る」ことを第一に、様々な想定による避難訓練を毎月実施していきます。

5月の予定

※SC：スクールカウンセラー出勤日

1	土		
2	日		
3	月		憲法記念日
4	火		みどりの日
5	水		こどもの日
6	木	SC	安全指導日/歯科(1・6)/1年5校時始
7	金		避難訓練/視力(1)
8	土		
9	日		
10	月		聴力(5)
11	火		内科(4・5)
12	水		聴力(1)/午前授業
13	木	SC	
14	金		聴力(2)/5時間授業
15	土		補習タイム
16	日		
17	月		内科(1・6)
18	火		聴力(3) /委員会活動
19	水		水道キャラバン(4)
20	木	SC	校外学習(3)
21	金		社会科見学(4)/5時間授業
22	土		
23	日		
24	月		委員長紹介/5時間授業
25	火		クラブ①
26	水		午前授業(品川教育の日)
27	木	SC	全国学力状況調査(6)
28	金		校外学習(2)
29	土		
30	日		
31	月		プール前総合診断(1・6)

6月の予定

予定は変更する場合があります。

1	火		ふれあい班発足式/プール前総合診断(3.5) /委員会活動/読書旬間始
2	水		午前授業
3	木	SC	避難訓練/眼科(2.3.4)
4	金		ふれあい班読み聞かせ/耳鼻科(1.3.6)
5	土		補習タイム
6	日		
7	月		校外学習(1)
8	火		新体力テスト
9	水		午前授業
10	木	SC	新体力テスト予備日/眼科(1.5.6)
11	金		委員会発表/耳鼻科(2.4.5) /※読書旬間終
12	土		
13	日		
14	月		学校公開6年・市民科地区公開講座 プール前総合診断(2.4)
15	火		学校公開5年/5時間授業
16	水		安全指導日/色覚(4)
17	木	SC	学校公開4年/眼科(2.3.5)
18	金		学校公開3年
19	土		補習タイム
20	日		
21	月		学校公開2年
22	火		学校公開1年/プール前耳鼻科(対象者)
23	水		
24	木	SC	小小交流(4)
25	金		プール開き/5時間授業日
26	土		
27	日		
28	月		5時間授業日/水泳指導始
29	火		クラブ②
30	水		午前授業/※定期健康診断終

学年の窓から～1年生の様子

1年学年主任 大黒 唯

4月6日の入学式から1か月。初めての授業、初めての給食当番、初めての……。全てが初めてのことだらけの1年生。元気いっぱい学校生活を送っています。

子どもたちの1日は検温表のチェックから始まります。玄関前で体温・押印の有無を先生から確認してもらったあと、手洗いをして教室へ向かいます。教室前でもう一度チェックを受けてから教室に入ります。感染拡大防止の徹底です。朝の会や学習の号令は日直が行っています。みんな大きな声で言うことができます。手を挙げて発表する時などは、恥ずかしそうにしながらも少し誇らしそうな表情です。休み時間は、授業の後15分ずつとっています。1年生は2時間目の授業のあとに外遊びができます。クラスみんなでドッチビーをして盛り上がっています。また、鉄棒遊びも大すきです。外遊びが終わると、みんな汗だくになって「お腹がすいた～」と言い始めます。給食の準備も一つ一つ慎重に進めています。給食当番は出席番号順に3人ずつで行っています。牛乳、ストロー、パンやゼリーなど、配膳しています。みんなとても上手に仕事をしています。これからも健康に気を付けて、元気に楽しく学校生活を送れるように指導・支援していきたいと思います。保護者の皆さまのご協力よろしくお願い申し上げます。

特別支援教室について

特別支援コーディネーター 菅原 加奈子

学習や生活上の個別の課題を抱える児童を対象に学級への適応をはかるために設けられている教室です。拠点校(本校においては台場小)より訪問指導教諭が巡回して指導にあたります。本年度の訪問指導教諭は次の5名です。

塚目 瑞穂(つかめみずほ) 大橋 愛梨(おおはしあいり) 村上 一乃(むらかみかずの) 青木 玲(あおきれい) 北野翔平(きたのしょうへい)

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ：教諭 白川 つぼみは、本年度1年間、病気休職となりました。

5月の目標

生活 きまりを守り、よりよい生活を送ろう
 安全 校内での危険を知り、安全に行動しよう
 保健 身のまわりを清潔にしよう
 給食 正しい給食のマナーを身につけよう